



春満開の茶席で釜石蘭煎会の会員がおもてなし

4月12日 【青葉ビル】

祝10回「さくら茶会」 春のひととき心と和む

煎茶道三彩流釜石蘭煎会による「さくら茶会」が開かれ、訪れた人たちはゆったりとした時間を楽しみました。春の草花で彩られた茶席では、味や香りの異なる2種類の煎茶と生菓子が振る舞われました。佐々木会長は「震災後、内陸への転居や高齢による退会などで会員数は大幅に減ったが、一致団結して頑張ってきた。引き続き、やれるところまでは続けていきたい」と話しました。



受賞報告に来た「さんりくBLUE ADVENTURE」の関係者ら

4月23日 【市長室】

日本マリン賞2026 環境・安全・普及部門賞受賞

UMI協議会が選ぶ日本マリン賞2026環境・安全・普及部門を受賞した「さんりくBLUE ADVENTURE」が市長を訪れ、受賞を報告しました。今回の受賞は、東日本大震災後、子どもたちに海の体験や知恵を伝える活動を続けてきた取り組みが評価されたものです。関係者らはこれまでの歩みを振り返るとともに、今後も活動を継続していく意欲を示しました。



委嘱状を交付された篠原さん

4月23日 【市長室】

シニア型地域活性化起業人に委嘱 若者の行動促進へ

京都府在住の篠原幸子さんがシニア型地域活性化起業人に委嘱されました。篠原さんは、平成27年から令和元年まで「釜石〇〇会議」でファシリテーターを担当し、平成29年から現在まで地域おこし協力隊の研修講師を務めるなど、これまでも釜石のまちづくりに関わってきました。これから篠原さんは、若者の行動を促すため、セミナーやワークショップの運営を担います。



感謝状を授与された少年委員

4月24日 【中妻地区生活応援センター】

釜石市少年センター 少年委員感謝状贈呈式

市から委嘱された少年委員が巡回や相談対応などを行ってきた「釜石市少年センター」が、子どもたちの行動や社会環境の変化を受け、令和8年3月で廃止になりました。少年センターは60年にわたり少年の健全育成に寄与してきました。中には、50年以上活動した委員もおり、市長から感謝状が贈られ、表彰された委員はこれまでの活動を感慨深く振り返っていました。

4月1日-3日 【釜石鶴住居復興スタジアム】

東北復興高校ラグビー交流会 高校生が集結し熱戦展開

高校ラグビーの強豪校が釜石市に集う東北復興高校ラグビー交流会が開かれ、全国から16チーム総勢500人を超える選手が参加しました。選手たちは悪天候の中でも泥だらけになりながら熱戦を繰り広げ、互いに刺激し合いました。会場では防災学習や語り部活動も行われ、競技だけでなく命を守る意識についても学ぶ機会となり、交流の輪が広がりました。



迫力あふれるプレーを見せる選手ら

4月5日 【釜石市球技場】

ラグビーキッズ新たな一歩 仲間とともに今季スタート

小学生ラグビースクールの釜石シーウェイブスジュニアは、開校式を行い新シーズンをスタートしました。新入団員2人を迎え、団員24人で始動し、それぞれが目標を掲げて練習に励みます。式では指導者らが仲間を思いやる気持ちや挑戦する大切さを呼びかけ、子どもたちは元気に声を上げて意欲を高めました。今季のさらなる成長と活躍が期待されます。



ボールを持ってグラウンドを駆け回る中学年以下の団員

4月9日 【野田中央公園】

震災後の仮設住宅用地から復旧整備 開放的に新装 野田中央公園

東日本大震災後、仮設住宅用地として使用されていた野田中央公園の復旧整備工事が完了し、開園式が行われました。樹木の伐採やグラウンドの整備により、明るく開放的な空間へと生まれ変わりました。早咲きの桜が満開となる中、訪れた子どもたちは元気に遊び、地域の憩いの場としての再出発に、住民から喜びの声が聞かれました。



開園式に参加した野田町の住民や子どもたち

4月11日 【釜石市民ホールTETTO】

釜石地方森林組合が記念行事 苦難乗り越え40周年

釜石地方森林組合の創立40周年記念式典が開かれ、約700人が参加しました。東日本大震災や林野火災などの困難を乗り越えてきた歩みを振り返り、関係者への感謝を表しました。東京大学先端科学技術研究センター准教授鈴木俊貴さんの記念講演や森の豊かさや人間との関係を考えるパネルディスカッションも行われ、森林の大切さや持続可能な森づくりについて理解を深める機会となりました。



さまざまな視点で意見を交わしたパネルディスカッション